〔せせらぎ荘「大黒湯」について〕

江戸時代中期から温泉として住民の治療慰安に利用されていました。その後、湧出量の多い他の源泉の優先的利用等により長らく利用されませんでしたが、近年、炭酸温泉の希少性や効能が注目されたことから、平成２８年の町営温泉保養施設「せせらぎ荘」のリニューアルオープンを機に利用を再開しました。

水１kg に対して遊離二酸化炭素が 1,121mg 含まれている質の高い療養炭酸泉です。（平成２６年１月１０日付け温泉分析書より）

天然かけ流しで、炭酸温泉としては比較的高温であり、入浴に適しているとされています。

泉質は、「含二酸化炭素ーナトリウムー炭酸水素塩・塩化物・硫酸塩温泉」で療養泉に該当し、一般的適応症及び泉質別適応症は以下のとおりです。

（療養泉の一般的適応症）

筋肉、関節の慢性的な痛み、こわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺による筋肉のこわばり、冷え性、末梢循環障害、 胃腸機能の低下（胃がもたれる、ガスがたまるなど）、軽症高血圧、 耐糖能異常（糖尿病）、 軽い高コレステロール血症、 軽い喘息・肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症やストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進

（大黒湯が該当する泉質別適応症（浴用））

	浴　用
二酸化炭素泉	きりきず、末梢循環障害、冷え性、自律神経不安定症
塩化物泉	きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症
炭酸水素塩泉	きりきず、末梢循環障害、冷え性、皮膚乾燥症
硫酸塩泉	塩化物泉に同じ

（出典：鉱泉分析法指針）